

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 LL-OFY-Q, オイルファインダーイエロー
別名 LL-OFY-Q
登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

製造者
Spectronics Corporation
265 Spagnoli Road
Melville, NY 11747
USA

輸入者
供給者
株式会社リークラボ・ジャパン
630-0101 奈良県生駒市高山町 5655
TEL: 0743 21 0005 FAX : 0743 21 0006

緊急連絡電話番号

Emergency Phone Japan 81-345209637
Outside US & Canada +1 703-741-5970 (24 HOURS CHEMTREC)

電子メールアドレス sds@spectroline.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 リーク検出

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性(経口)	区分に該当しない***
急性毒性(経皮)	区分に該当しない***
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない***
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない***
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分 4***
皮膚腐食性/刺激性	区分 2***
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B***
呼吸器感作性	分類できない***
皮膚感作性	分類できない***
生殖細胞変異原性	区分 2***
発がん性	区分に該当しない***
生殖毒性	分類できない***
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2***
区分 2*** 肺。***	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1***
区分 1*** 肺、皮膚。***	
誤えん有害性	区分 1***
水生環境有害性 - 急性	分類できない***
水生環境有害性 - 慢性	区分に該当しない***
オゾン層への有害性	分類できない***

GHSラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

危険***

吸入すると有害

皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害***

以下の臓器の障害のおそれ: 肺。***

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害: 肺、皮膚。***

注意書き
安全対策

- ・ 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- ・ 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- ・ 取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・ 保護手袋を着用すること
- ・ 使用前に取扱説明書を手入手すること
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・ 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと***

応急措置

- ・ 特別な処置が緊急に必要である(このラベルの応急措置についての補足指示を見よ)
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること***
- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること***
- ・ 無理に吐かせないこと
- ・ 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること***
- ・ 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・ 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと***
- ・ 気分が悪いときは医師に連絡すること
- ・ 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること***

保管

- ・ 施錠して保管すること***

廃棄

- ・ 内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること***

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
鋳物油	企業秘密	50 - 60%	情報なし	記載なし	情報なし	記載なし
鋳物油	企業秘密	20 - 30%	情報なし	記載なし	情報なし	記載なし

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
鉱物油		通知対象物質	Attached table	50 - 60
鉱物油		通知対象物質	Attached table	20 - 30

表示対象物質

Article 57 of ISHL, Article 18, Item 1, Item 2, Table 9 and Item 3, Table 3 of Order for Enforcement

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
鉱物油		表示対象物質	Attached table	50 - 60
鉱物油		表示対象物質	Attached table	20 - 30

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。***

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こす可能性がある。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。***

皮膚に付着した場合

症状が続く場合には、医師に連絡すること。直ちに石けん(鹼)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。***

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。洗っている間は眼を大きく広げたまにすること。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。***

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。吸引性呼吸器有害性 - 肺に侵入して障害を引き起こすおそれがある。自発的に嘔吐した場合には、誤って汚物が気管に入らないように頭を腰より下に下げる。直ちに医師の診察/手当てを受けること。***

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

呼吸困難。咳及び/又は喘鳴。めまい。紅斑(皮膚の発赤)。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。***

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。指定された個人用保護具を着用すること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。詳細については項目8を参照。***

医師に対する特別な注意事項

吸引する危険があるので、他の毒性物質の存在によりリスクが正当化されない嘔吐をさせたり胃洗浄を行ったりしてはならない。***

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤

高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性

情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

その他の情報

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区

急時措置	域に退避させること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。***
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。***
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	せき止めること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。***
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。***

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。十分換気されているか確認すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。***
衛生対策	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。***

保管

安全な保管条件	施設して保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。他の物質から隔離して保管すること。***
---------	---

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
鉍物油	TWA: 3 mg/m ³	-	TWA: 5 mg/m ³ inhalable particulate matter excluding metal working fluids, highly & severely refined

生物学的許容値	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない
設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
環境ばく露防止	情報なし。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用すること。インダストリアル・ハイジニストに相談のうえ、この物質の使用用途に対する適切な呼吸用保護具を決定すること。***
手の保護具	適切な手袋を着用すること。***
眼及び／又は顔面の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。***
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。長袖の衣類。***

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体	
物理状態	液体	
色	濃赤色	
臭い	かすかな 石油蒸留物 Oil	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
融点/凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		情報なし
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点	114.5 °C ^{***} / ^{***} 238.1 °F ^{***}	情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率	9.8 mm ² /s	@ 40 °C
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度	不溶	情報なし
n-オクタノール/水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び/又は相対密度		
相対密度	0.882	情報なし
蒸気濃度	情報なし	
かさ密度	情報なし	
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化性	情報なし	
VOC含有率	情報なし	

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
避けるべき条件	過剰な熱。***
混触危険物質	強酸。強塩基。強酸化剤。***
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

混合物のATE値は下記のとおり算出されている ***

ATEmix(経口)	8,004.00***	mg/kg***
ATEmix(経皮)	8,004.00***	mg/kg***
ATEmix(吸入 - ガス)	99,999.00***	ppm***
ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト)	1.98***	mg/L***
ATEmix(吸入 - 蒸気)	99,999.00***	mg/L***

未知の急性毒性

混合物の 25 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る***

毒性の数値尺度 - 成分情報***

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
鉱物油	> 5000 mg/kg (Rat)	> 5000 mg/kg (Rabbit)	-
鉱物油	> 5000 mg/kg (Rat, male and female)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 2180 mg/m ³ (Rat) 4 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

症状

呼吸困難。咳及び/又は喘鳴。めまい。発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込んだ場合に誤嚥の可能性。飲み込むと肺損傷を引き起こすおそれがある。吸入すると肺水腫及び肺臓炎を引き起こすおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。***

吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こす可能性がある。肺水腫を引き起こすおそれがある。肺水腫は生命に危険である可能性がある。気道刺激を引き起こすおそれ。吸入すると有害。(成分に基づく)***

皮膚接触

繰り返しのばく露が皮膚の乾燥又はひび割れを起こすおそれがある。この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)***

眼接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。刺激のおそれ。眼刺激。発赤、搔痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。***

皮膚腐食性/刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。***

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。眼刺激。***

呼吸器感作性又は皮膚感作性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。***

生殖細胞変異原性

変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。遺伝性疾患のおそれの疑い。***

発がん性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。区分に該当しない。***

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。***

化学名又は一般名	日本政府によるGHS分類	IARC
鉱物油	Not Classified***	-

生殖毒性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。***

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 臓器の障害のおそれ。***

以下の臓器の障害のおそれ: 肺。***

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。***

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害: 肺、皮膚。***

誤えん有害性 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。***

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。***

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
鉱物油	-	LC50: >5000mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)	EC50: >1000mg/L (48h, Daphnia magna)
鉱物油	-	LC50: >5000mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)	EC50: >1000mg/L (48h, Daphnia magna)

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 ***

化学名又は一般名	分配係数
鉱物油	3.9-6***

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当しない

労働安全衛生法**表示対象物質**

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法

引火性液体、第4類、第3石油類、非水溶性液体、危険等級 III、2000リットル***

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA	適合する。
DSL/NDSL	適合する。
EINECS/ELINCS	適合する。
化審法インベントリ	適合する。
IECSC	適合する。
KECI	適合する。
PICCS	適合する。
AIIC	適合する。
NZIoC	適合する。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
 ENCS - 化審法既存物質
 IECSC - 中国現有化学物質名録
 KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
 AIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ
 NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリー

16. その他の情報**改訂日**

12-3-2026

改訂記録

*** 前回の発行以降に更新されたデータを示します。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**凡例 8: ばく露防止及び保護措置**

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
Sk*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

米国毒性物質疾病登録庁(Agency for Toxic Substances and Disease Registry, ATSDR)
 米国環境保護庁ChemViewデータベース
 欧州化学品局
 欧州食品安全機関(EFSA)
 米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
 米国環境保護庁高生産量化学物質
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
 危険有害性物質データベース
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)
 日本製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation, NITE)
 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
 NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)の環境、保健及び安全に関する出版物

国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)高生産量化学物質プログラム

国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)スクリーニング情報データセット

国際連合世界保健機関(World Health Organization, WHO)

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり